

離島航路だより vol.9

(萩市 相島編)

山口県交通政策課
平成 27 年 10 月

今回の離島航路だよりは、山口県交通政策課でインターンシップ（業務体験）を行った大学生7人が、萩港の北西 14 kmに位置する、日本一おいしいスイカの産地『相島』を紹介します。

<船舶の概要>

【通常時の利用船】

150人乗りの「つばき2」です。スイカを出荷するコンテナを乗せるため、貨物スペースが広く確保されています。

船体を後方から見ると丸い形状で、クリーム色の船体に樺の絵がとても似合っていました。客室は3層になっており、座敷席だけではなく、最上階デッキにはベンチも設置されています。



【今回、利用した船】

当日は「つばき2」が大島航路に就航していたため、代船「のしま」を利用しました。

<相島の様子>

人口200人弱の静かな島です。

美しい自然が広がり、まるで絵本の中にあるような不思議な空間でした。

島内には石垣を築き作られた段々畑が広がっています。

ここで生産される「すいか」や「さつまいも」、「葉たばこ」などが島の名産だということです。



港の横の急こう配の坂を上がると、モダンな建物（相島小中学校）が目を引きます。

島の周囲では、「相島八景」と呼ばれる八つの奇岩があるそうですが、当日は残念ながら見ることはできませんでした。

島内では、人と会うことは稀でしたが、船の出航時間が近づくと、港には島の人が集まってこられ、島民の方の交流の場になっている様子でした。



<船旅の様子>

片道40分の船旅です。

本土の待合所には売店や待合所があり、定期船待ちのお客様がビールを飲みながらくつろがれていました。

船内ではデッキで景色を楽しんだり、座敷で横になったりと、それぞれのスタイルで船旅を楽しまれていました。

船が島周辺に近付くと、周囲を岩礁で囲まれた独特の島の雰囲気を楽しむこともできます。

運がよければ、船上からイルカも見ることができそうです。

島に上陸したら、可愛いスイカのモニュメントが出迎えてくれます！



<利用者・島民の声（学生による聞き取り）>

デッキの高齢男性は、島内に病院がなく、本土の病院で投薬を受けた帰りでした。

日用品の買い物、通院、散髪などの日常生活のために航路は欠かせないとのこと。

島民の中には、毎日、利用される方もおられるそうです。

別の部屋では島に住む妹さんを訪問するお姉さんが「毎回、船上から見る海の色が違って楽しいですよ」と船旅を楽しまれていました。



<学生の感想>

・予想以上に海が澄んでいて、船上からの景色は一層綺麗だった。

・海に浮かぶきれいな岩を眺めるショートクルーズに使いそう！

・座敷席にはしきりがあり女性客も利用しやすいと感じた。



「山口県の離島航路」情報は、以下の Facebook ページで随時発信しています。

→ <https://www.facebook.com/y.ritou>

萩～相島

- ・ 1日3往復（ドックにより2往復の場合もあり）
- ・ 片道 大人 610 円、子供 310 円